

休暇村の今後のあり方の論点整理

今後のあり方		財政面	利用者の視点	教育・環境面	その他	
売却	施設・森林を含め民間へ売却	メリット	<ul style="list-style-type: none"> 市費投入額の全面的な削減【年間約3億円】 売却代金を得る【用地取得価格：3億6千万円 当初建物建設費：11億円】 	<ul style="list-style-type: none"> 民間経営によるサービス向上への期待 		<ul style="list-style-type: none"> 行財政改革の成果
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 売却先が見つからない可能性有 建物等の解体・撤去をした場合【ロッジ解体撤去費用：概算7億円】 	<ul style="list-style-type: none"> 低料金の公共宿泊施設の減少 環境保護事業・自然体験事業等の減少 子ども村キャンプ事業の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護事業・水源地交流事業・自然体験事業等の環境関連の公益的事業の減少 子どもの野外体験・青少年育成等を目的とした教育的事業の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 公社職員の処遇問題 王滝村の税金・観光・雇用に悪影響
廃止	施設を廃止して森林として所有管理	メリット	<ul style="list-style-type: none"> 市費投入額の全面的な削減【年間約3億円】 	<ul style="list-style-type: none"> 森林資源を活用した環境保護事業への期待 	<ul style="list-style-type: none"> 森林資源を活用した環境保護事業等の一部継続 	<ul style="list-style-type: none"> 行財政改革の成果
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 森林保全管理の費用が必要 建物等の解体・撤去をした場合【ロッジ解体撤去費用：概算7億円】 売却代金は得られず 	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験事業等の減少 子ども村キャンプ事業の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 水源地交流事業・自然体験事業等の環境関連の公益的事業の減少 子どもの野外体験・青少年育成等を目的とした教育的事業の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 公社職員の処遇問題 王滝村の税金・観光・雇用に悪影響
存続	ロッジ閉鎖(キャンプ場のみ存続)	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ロッジ運営・維持管理経費の削減【概算2億円/年】 耐震補修やロッジ老朽化に伴う建替え等不要 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども村キャンプ事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験事業等の環境関連事業の一部継続 子どもの野外体験・青少年育成等を目的とした教育的事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 公社職員の一部雇用継続が可能 公益事業比率の大幅増
		課題	<ul style="list-style-type: none"> ロッジ宿泊・飲食に伴う収入減【概算2億円/年】 	<ul style="list-style-type: none"> 利用目的・利用者が限定された施設 冬期の利用不可 	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験事業等参加者の宿泊場所が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公社見直しと大幅な人員削減が必要。 王滝村への観光入込客数の大幅減少
	キャンプ場閉鎖(ロッジのみ存続)	メリット	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場運営・維持管理経費・子ども村キャンプ事業費等の削減【概算9千5百万円】 キャビン等老朽化に伴う建替え等不要 	<ul style="list-style-type: none"> 低料金の公共宿泊施設の維持 環境保護事業・自然体験事業等の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護事業・水源地交流事業・自然体験事業等の環境関連の公益的事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 公社職員の一部雇用継続が可能 王滝村の税金・観光・雇用に貢献
		課題	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場利用収入減【概算7百万円/年】 子ども村キャンプ事業収入減【概算3千2百万円/年】 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども村キャンプ事業の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの野外体験・青少年育成等を目的とした教育的事業の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 公社見直しと一定の人員削減が必要。
	運営内容等を見直しして存続 ・収入増 ・利用者増 ・経費削減 ・運営体制 ・公益性確保	メリット	<ul style="list-style-type: none"> 運営内容見直しによる市費投入額の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 低料金の公共宿泊施設の維持 環境保護事業・自然体験事業等の継続 子ども村キャンプ事業の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護事業・水源地交流事業・自然体験事業等の環境関連の公益的事業の拡充 子どもの野外体験・青少年育成等を目的とした教育的事業の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 公社職員の雇用継続が可能 王滝村の税金・観光・雇用に貢献
		課題	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な市費投入が必要 安定した収入を得るための見直し 利用者増のための見直し 経費削減のための見直し 運営体制の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 市費投入への市民の理解が必要 →公益性確保のための事業拡充 利用者増のための見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 公益性確保のための事業拡充 市役所内他局との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 運営体制の見直し →指定管理者公募・NPOによる運営・外部委託等 王滝村との連携強化